

## 第2回日高医療センターのあり方検討委員会会議録

I 日 時 平成28年3月28(月) 14:00～16:00

II 場 所 公立豊岡病院2F 会議室

III 出席者

1 外部委員

後藤委員、石田委員、谷田委員、田中委員、池本委員、松島委員、  
井上委員、竹岡委員、福井委員

2 組合委員

井上管理者、曲渕医療監、田中副病院長(代理)

IV 検討委員会

1 開会

2 協議事項

- (1) 第1回委員会資料のまとめと課題の抽出について
- (2) 抽出された課題のテーマ別の整理について
- (3) 機能整備を検討するにあたっての視点(評価軸)について
- (4) 保健・医療・介護等サービスの特性と確保すべき圏域の単位について
- (5) 公立豊岡病院組合及び日高医療センターが果たすべき役割の検討について
- (6) 日高医療センターの機能強化・拡充の方向性、事業構成の検討について

事務局	協議事項「(1) 第1回委員会資料のまとめと課題の抽出について」及び「(2) 抽出された課題のテーマ別の整理について」 説明。
委員長	只今、事務局から協議事項(1)と(2)について、説明がなされた。 この2件について、ご質問等ありましたらお願いします。 議論を進めていくと質問等も出てくるかと思うので、次に進めます。
事務局	協議事項「(3) 機能整備を検討するにあたっての視点(評価軸)について」及び「(4) 保健・医療・介護等サービスの特性と確保すべき圏域の単位について」 説明。

委員長	<p>協議事項(3)と(4)について、事務局から説明がなされた。</p> <p>只今、協議事項(1)の第1回委員会資料のまとめで出てきた課題について、どのように機能、整備を検討するかという視点軸の話と、確保すべき圏域の単位についての説明により、少しずつ日高医療センターが何をすべきかが出てきました。今のところでご質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	この整備計画の時期は決まっていますか。
管理者	時期は決まっていないが、昨年の12月に日高医療センターの耐震診断の結果を踏まえれば、いつまでも悠長にはしてられない事情がある。
委員	<p>日高医療センターで訪問診療するかどうかは別にして、開業医も新規の医者がいなくて訪問診療に行けるマンパワーに限りがある。今は豊岡市で200名程度実施しているが、5年後、10年後は変わってくるので、ある程度時期を決めたほうがいい。</p> <p>眼科について、豊岡病院から日高医療センターに移った経緯、今後のビジョンを少し説明していただきたい。</p>
管理者	<p>整備計画の時期については、今回の委員会報告を踏まえて来年度の予算の中で議会と議論しながら進めていきたいと考えている。</p> <p>眼科については、当時、日高医療センターと豊岡病院にあったが、共に医師が減る中で、但馬の眼科を守るため眼科の医師が主体的に考えられたのが集約化です。特に医師不足の中で効率的な手術体制を確立する必要があり、日高医療センターに集約化することで手術件数も維持できている。今後のあり方については、皆さんの議論を踏まえて考えていきたい。</p>
委員長	今、眼科の話も出たので、先に協議事項(5)を説明してください。
事務局	協議施行「(5) 公立豊岡病院組合及び日高医療センターが果たすべき役割の検討について」 説明
委員長	果たすべき役割だが、日高地域内で整備・確保すべき機能と豊岡市・但馬医療圏で整備・確保すべき機能に分かれている。今の説明でご質問等ありましたらお願いします。
委員	日高地域で最も優先して整備すべき機能として、訪問診療や訪問看護が出てきたが、これは整備されていますか。

委員	以前は訪問診療をしていた時期もあったが、医師の減少に伴い現在はしておりません。
委員	現在していないことをどのような理由で上げられたのか。もう少し説明してもらいたい。
管理者	今後の医療需要や介護需要を踏まえると、これから確実に強化しなければならない分野として、今後は訪問診療のニーズが高まってくると思われる。10年、20年先を長期的な視点で考えると、身近なところで必須になるものと広域でカバーできるものという観点で整理する必要がある。また、医療資源の確保の視点が必要となる。この3つの観点から、今後ニーズが増えてくる訪問診療や訪問看護が求められるという考え方です。
委員	医師も高齢化しているので、これらを最優先に入れることはいいことだが、医師の確保も難しい。反対しているわけではないが、現場の医師や医師会とも相談し、どれぐらい必要かということの研究しながらやってほしい。
委員長	主体は別として、日高医療センターが担うべき機能を集約していく必要がある。もちろん訪問看護は医師会の協力なくして絶対できません。医師会との連携の中で、病院としてその役割分担をどのようにするかを決めていかないと、日高地域内での訪問看護はうまくいかないと思う。
委員	地域包括ケアシステムを構築しようということだが、豊岡病院は医師も看護師も不足している中で、急性期を過ぎるとかかりつけ医で対応してもらうよう進めている。最初の危ない時は豊岡病院に行き、その後はかかりつけ医で対応するということだと思う。地域包括ケアのリーダーとして、行政や豊岡病院が主導的に進める必要があると思う。
委員	かかりつけ医と病院の連携が大切であり、豊岡病院組合は今の医師数では重症者の在宅医療を進めるべきで、医師会も協力していきたい。
委員長	豊岡病院の役割の話が出たが、豊岡市全体の訪問看護に果たすべき役割としてどの程度できますか。
委員	現在豊岡病院では、訪問診療は神経内科の医師が中心となって、月25名程度を診ている。ご指摘があったように豊岡病院は特に内科系の医師が非常に少ない状況なので、医師会と連携して開業医の先生と豊岡病院で対応してい

	<p>る。やはり 24 時間体制が訪問看護や訪問診療には必要だが、開業医の先生だけでこれを全部やろうとすると無理なので、豊岡病院の看護師も巻き込んで、少しずつ広げていきたいと考えている。</p> <p>今後、豊岡病院として訪問看護ステーションを少し充実させたいが、日高医療センターは今後の検討です。</p>
委員長	<p>但馬医療圏には、日高医療センター、出石医療センター、朝来医療センター、八鹿病院もある。その八鹿病院でも広域的な役割を果たしていると思うが、やはり地域の医師会と連携をしてやっている。豊岡病院も医師会のカバーに回るといような形にならざるを得ないと思う。</p>
委員	<p>豊岡市・但馬医療圏で整備・確保すべき機能のところに、回復期入院医療がある。地域包括ケア病棟や回復期のリハビリテーション病棟等については、住民感情からすると旧町単位で整備して欲しいところだと思う。</p>
委員	<p>時代の変化に合わせ豊岡・但馬の全体の中で、新しい医療提供体制を構築する必要がある。それは、健診、救急、かかりつけ医、介護等をどのように組み合わせるかということ。</p> <p>但馬において、豊岡病院の救急医療が広域的に日本一の役割を果たしており、そうした環境の中で日高医療センターの役割も考える必要がある。</p> <p>また、豊岡病院の高度な機能とともに、かかりつけ医を軸とした日高の将来を考える必要がある。</p>
委員長	<p>かかりつけ医は別に開業の先生でなくても、病院の先生でもいいと理解してよろしいか。</p>
委員	<p>かかりつけ医とは、住民がいつも同じ診療所に行くのではなく、医療機関側が住民のことを気にかけるという側面が大事である。将来的には ICT（情報通信技術）を活用するなどにより、豊岡病院が中心となって医師会と一緒に但馬の健康を守るというのが真のかかりつけ医制度だと思う。</p>
委員長	<p>今まで、かかりつけ医の話は出てこなかったが、住民と病院をつなぐ一つのポイントになるので、医療センターを考えるときに、この部分は整理をしておく必要がある。</p>

委員	日高医療センターとして、外来機能が中心で入院は余り考えていないと理解したらよろしいか。
管理者	これからの議論です。日高地域で確保すべき機能、豊岡市・但馬圏域で整備・確保すべき機能というのは、日高も含んでこれは但馬全域としては絶対必要な機能です。これを日高でやることも当然あるということで、否定している訳ではありません。
委員長	眼科について、専門医療は豊岡市・但馬医療圏で整備すべき機能に区分し、一般眼科については、日高地域の一般的な外来診療の中に含まれると考えていいと思う。 また透析については、通院、入院は豊岡市・但馬医療圏に入っているが、日高地域の方は日高医療センターが近くていいと思うが、あえて書いてないのはこれからの議論ということです。 それでは、次の日高医療センターの今までの議論、あるいは資料の整理を踏まえてどういう方向でいくのか。事業構想も含めての検討について、事務局から説明してください。
事務局	協議事項「(6) 日高医療センターの機能強化・拡充の方向性、事業構成の検討について」 説明
委員長	人的資源のことや経営の問題もあるので、日高医療センターで全て対応する訳にはいかない。土地の問題もあるということですが、この説明でご質問等ありましたらお願いします。
委員	病院整備については、各施設の耐用年数等を考慮し、長期的な計画の中で進めていくべきものである。例えば、道路の整備状況によって、集約や分散も変化していくと考える。現在、梁瀬医療センターと和田山医療センターの統合病院を整備しているが、いずれ出石医療センターも建て替えの時期が来る。全体計画が必要である。
管理者	そういう意味では以前、豊岡病院と日高医療センターの眼科を日高医療センター1カ所に集約したことは、一定の成果があったと考えている。
委員長	眼科の治療については、全て日高医療センターで行っていますか。

管理者	眼科については、眼科領域としてはやれているが、他の疾病を併発している場合の対応が難しいと聞いている。
委員長	眼科センターでもやはり全身管理が問題になる。全ての医療機能に対応することは、物理的な問題や経営的な問題があるかと思うので、眼科はそういう議論になると思う。 もう一つは透析について、今入院透析やその導入はどうなっていますか。
委員	日高医療センターの入院透析は、豊岡病院で様々な治療を行い、他に治療方法がなくなり導入が終わった段階の患者を診ている。日高医療センターでは集中治療ができないため緊急・重症疾患また全身管理が必要な患者は豊岡病院が行なっている。従って、基本的には入院患者は受けないというのが基本的スタンスとなっている。
委員長	透析で何か問題あれば豊岡病院にお願いするということですか。
委員	入院して、その日中に豊岡病院に転送ということもある。
委員長	豊岡病院でも人工透析はやっているが、それを集約することになった場合、今通院されている方は豊岡病院まで行かなければならない。通院透析と入院透析の場所を変えてやるということについては、どのように考えていますか。
委員	基本的に入院しないといけないような状態だったら豊岡病院に任せる。外来対応ができる症例だけを受けようとしている。
委員	豊岡病院の経営や患者の分布等を考慮すると、日高医療センターでは入院は受けないということになると思うが、住民感情が気になる。
委員長	人的資源の問題など移すとなったら、やはり決断が要ります。 この追加が考えられる機能の回復期・慢性期病床については、まさに地域包括ケアや回復期リハビリテーション病棟として必要となる。これは新規でやる必要があると考えていますか。
委員	回復期リハ病棟をやるなら、本格的に取り組んでもらいたい。何十人というPT（理学療法士）・OT（作業療法士）がいれば活力ある医療機関になり、町の活性化にも大きく寄与する。
委員	但馬地域全体で機能分担と集約化が大事です。今後の医療ニーズに合わせ

	<p>て訪問診療や訪問看護を実施するためには、何かを減らさないと出来ない。 新しい日高医療センターがミニ豊岡病院にならないようにして、急性期医療と在宅医療のバランスを図ることが大事です。</p>
委員長	<p>現在の場所でやるのか、他へ行くのかということで、かなり違ってきます。日高町民の方の気持ちもあろうかと思うがどうですか。</p>
委員	<p>住民として、交通の便のいいところがよい。</p>
委員	<p>現在の場所は交通の便もよく、インターチェンジも近いので、今のところ以外の場所は考えていません。</p>
委員長	<p>やはり現在の場所がいいことだと思う。 もう一つ専門外来だが、これは順次取り組んでいくという考え方でいいですか。</p>
委員	<p>専門外来については、日高医療センターでは豊岡病院から皮膚科の応援をいただき大変助かっている。日高地区に不足している診療科の専門外来は充実させてほしい。</p>
委員	<p>訪問診療や訪問看護等を行うにあたって、豊岡病院に送るほどではないが、少し入院させる病院が近くにあると、一層在宅医療は進むし豊岡病院の負担も軽減され医療の質も向上する。</p>
委員長	<p>地域包括ケアをやろうと思えば、ちょっと入院できる機能が一つはほしい。</p>
委員	<p>日高医療センターは平成3年には内科医7名の体制でやっていたが、今は実質2人で透析60床診ている。この体制では、民間のクリニックであれば30床ぐらいだけをする病院です。しかし外来や病棟、また人間ドックもやっており、いろんな希望があるかとは思いますが、現状でも厳しく医師確保が必要である。しかし、医師確保は厳しく、現状では医療機能を絞っていかざるを得ないことを理解してほしい。</p>
委員長	<p>豊岡病院組合として、例えば出石病院をどう使うのか考えられるのではないかと思う。そうなると日高地域の人是不便になるが、全体としては非常にプラスになる。今の状況では、医師の負担を取り除かないと医師確保は非常に厳しいと思う。</p>

	健診について、日高医療センターで町ぐるみ健診はありますか。
委員	町ぐるみ健診では乳がん検診をしています。ほとんどは人間ドックだと思う。
委員	現状では住民健診は実施しておらず、人間ドックだけ行っている。人間ドックをやってはいるが、乳がんや内視鏡等の専門医の確保に苦勞しており、バイト中心でやっているため、必ずしも日高医療センターでやる必要はないと思う。また、経営的に赤字が増大すると住民負担が増えるので、それは阻止したいと思う。

### 3 その他

- ・旅費請求書兼口座振替請求書の記載について
- ・第1回日高医療センターのあり方検討委員会会議録の確認について
- ・次回委員会の開催日程の調整について

### 4 閉会